

脳卒中片麻痺者の排泄動作障害の改善に向けた衣服の考案と効果検証



氏名 小池 祐士 助教
 所属 作業療法学科
 URL <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=189koi>
 研究分野 アームロボット, 脳卒中, 日常生活活動 (ADL), 排泄, 介護予防, 地域リハビリテーション
 キーワード 脳卒中、片麻痺、排泄、精神的負担、羞恥心、試作品、下着開発

研究シーズの概要

研究背景

排泄動作（下衣操作）障害に伴う弊害

- ・ 介助される側の精神的負担（羞恥心等）
- ・ 介助する側の精神的・身体的負担
- ・ 自宅退院を困難にする



下衣操作の自立は重要な課題

様々な訓練を経ても、
立位保持ができない場合、
自立に至らない者が多い

期待される効果

- ・ 脳卒中片麻痺者の個々の機能・能力に合わせた訓練や指導が可能
- ・ 脳卒中片麻痺者の羞恥心の軽減（QOLの向上）
- ・ 自宅退院数の増加

研究成果

試作品

特許6372882号

使用方法

左側

右側

開口部

排泄満足度

状況	満足度 (%)
普通の排泄時	約 30 - 55
本下着使用時	約 50 - 95

排泄後の試作品の汚染の有無

➤ 片麻痺全対象者で、試作品の汚染なく、排泄が可能であった

共同研究のご提案

- 立位保持能力の低い脳卒中片麻痺者でも、座ったままで脱がずに排泄が可能な下着の開発
- 脳卒中片麻痺患者に合わせた衣服の開発